

内服のための説明書＜デシコビHT・アイセントレス400mg＞

(2024年9月3日)

[内服の意義]

- 針刺しなどでHIV汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、約0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べ、それぞれB型肝炎の1/100、C型肝炎の1/10と低いですが、感染リスクが0%ではありません。
- 今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されていません。
- 感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。

[内服に当たっての注意点]

- 妊娠の有無を確認しました。
この薬剤は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する安全性は確立されていません。妊娠が明確または疑われる場合は、専門家に相談することが推奨されますが、そのために曝露後予防投与が遅れてはならないとされています。
- B型肝炎であるか確認しました。
B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。
- 予防内服される抗HIV薬

薬剤名	デシコビ配合錠HT (TAF/FTC) <1日1回> 	アイセントレス錠400mg (RAL) <1日2回> 
服用方法①	 +  【デシコビ配合錠HT 1錠＋アイセントレス錠400mg 1錠】	
服用方法②	 【アイセントレス錠400mg 1錠】	
服用方法説明	1日2回 12時間ごとに服用（食事の影響はありません） 服用方法①（デシコビ配合錠HT1錠とアイセントレス錠400mg1錠）をできるだけ早く内服する。12時間後に服用方法②（アイセントレス錠400mg1錠）を内服する。その後12時間間隔で服用方法①と服用方法②を交互に内服する。	
保存方法	室温保存	
副作用	〔重大な副作用〕 ●腎不全又は重度の腎機能障害 ●乳酸アシドーシス及び脂肪沈着による重度の肝腫大（脂肪肝）など 〔主な副作用〕 ●頭痛 ●悪心・下痢 ●疲労など	〔重大な副作用〕 ●皮膚粘膜眼症候群 ●薬剤性過敏症候群 ●過敏症など 〔主な副作用〕 ●悪心・下痢 ●頭痛 ●不眠症など
注意点	普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。（マグネシウム・アルミニウム含有製剤） 他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を医師に見せてください。 また、他院に行く時も、内服のための説明書を必ず持参するようにしてください。	